



シラバス参照

タイトル「2014年度 教養科目シラバス」、フォルダ「2014年度 教養科目シラバス-2014年度シティズンシップ科目」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	情報通信システムのしくみ		
担当教員	内尾 文隆 塚田 晃司 松田 憲幸 村川 猛彦 吉廣 卓哉 大平 雅雄 風間 一洋		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	水 5	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年 システム工学部情報通信システム学科及びデザイン情報学科学生が受講しても卒業要件の単位として認められない。		
科目名 (英語表記)	Introduction to information and telecommunication systems		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	情報処理やネットワーク技術等の高度化に伴い、情報システムの利用価値は飛躍的に向上する。しかし、人の多様な価値観や社会構造の変化などにより、時として反社会的な事象を引き起こすこともある。本講義では、現状の情報通信システムの仕組みを理解し、利用状況を分析することにより、現在生じている様々な課題を知り、それらについて自ら解決する能力を高めることを目標とする。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. インターネットコミュニケーション</li> <li>2. 情報検索サービス</li> <li>3. 情報セキュリティと情報倫理</li> <li>4. ネットワーク利用の心構え</li> <li>5. WWWと電子メールの仕組み</li> <li>6. Webシステムの構築技術とその進展</li> <li>7. インターネットに潜むネットワーク構造</li> <li>8. ネットワーク構造を利用したサービス</li> <li>9. IP電話と固定電話の仕組み</li> <li>10. IP電話の基盤技術</li> <li>11. データベースの役割</li> <li>12. データベースの設計・構築・利用</li> <li>13. 情報システムの設計</li> <li>14. 知識と情報システム</li> <li>15. 最終試験</li> </ol>		
到達目標	工学部以外の分野の受講生が情報通信の役割と課題を理解し、自ら活用できるものの考え方を習得する。		
成績評価方法	講義中の質疑と課題・最終試験の結果で総合的に評価する。 具体的には、質疑（出席点）：10%、課題・最終試験：90%。		
教科書	特になし。		
参考書	すっきりわかった! Web技術/ネットワークマガジン編集部編--アスキー 情報データベース技術/鶴保証城監修--電気通信協会,ISBN:4885499062 電話はなぜつながるのか米田正明日経BP\2400.		
履修上の注意・メッセージ	授業参加時は、課題演習のためのレポート用紙を数枚用意すること。 本講義は、システム工学部情報通信システム学科とデザイン情報学科の学生は受講登録できない。		
授業時間外学習	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行ってください。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求めます。		



